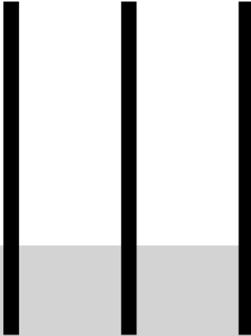


# 2018年9月期 決算説明資料

株式会社チェンジ  
証券コード：3962



CHANGE  
PEOPLE, BUSINESS, JAPAN

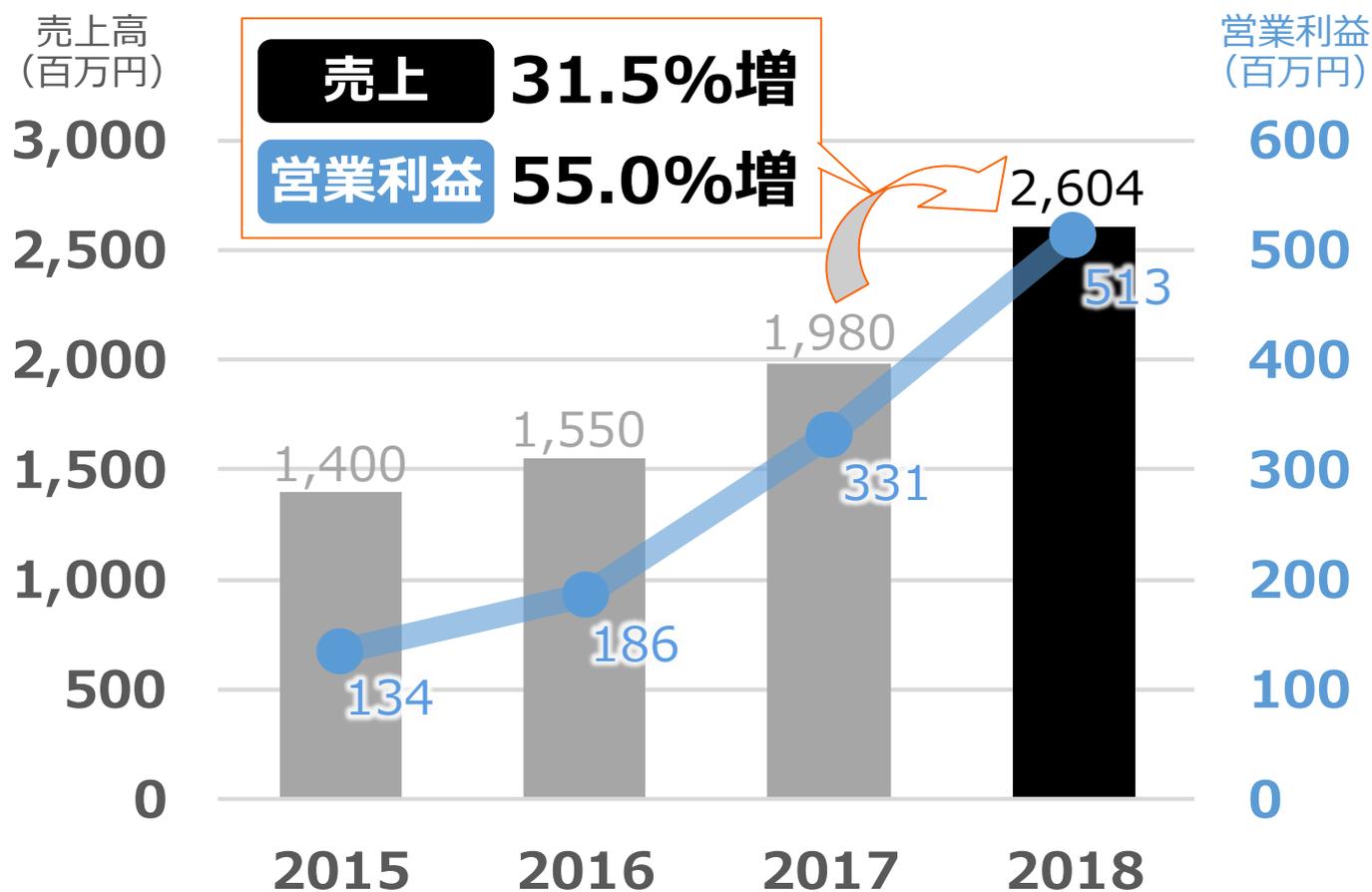
**2018年9月期の振り返り**

2019年9月期の方針

# 業績概況

||| 2度の上方修正を経て、大幅増収・**最高益**更新。

||| 音声系・高度IT人材系を筆頭に、新サービスの投入が寄与。



# 2018年9月期 損益計算書

Ⅲ 2度目の上方修正予想をわずかながら上回り着地。

Ⅲ 引き続き直接的競合のいない市況から、利益率も継続的に向上。

(単位：百万円)	2017年9月期		2018年9月期							
	金額	売上比	期初目標	4.16修正	8.8修正	金額	売上比	増減額	増減%	
売上高	1,980	100.0%	2,190	2,350	2,590	2,604	100.0%	624	+31.5%	
売上原価	1,183	59.8%	—	—	—	1,591	61.1%	407	+34.5%	
売上総利益	796	40.2%	—	—	—	1,013	38.9%	216	+27.2%	
販売費及び一般管理費	465	23.5%	—	—	—	499	19.2%	34	+7.3%	
営業利益	331	16.7%	360	402	500	513	19.7%	182	+55.0%	
経常利益	325	16.5%	359	401	501	513	19.7%	187	+57.7%	
当期純利益	229	11.6%	242	270	338	343	13.2%	113	+49.5%	

# 当期ハイライト① ~東証一部へ市場変更

||| 2018年9月3日、東証マザーズから東証一部へ市場変更。



# 当期ハイライト① ~東証一部へ市場変更

||| 一部上場の効果は、概ね狙い通り。

信用力Up

- ||| 顧客1社あたりの取引額増大
- ||| 新規取引先や高額契約時のPJ組成/契約締結時間短縮

採用力Up

- ||| 候補企業としての信頼感Up
- ||| 従業員の社会的信用Up

出来高Up

- ||| 約47千株 ⇒ 約102千株/1日平均  
(7/2~8/31 ⇒ 9/3~10/31)

# 当期ハイライト① ~東証一部へ市場変更



# 当期ハイライト② ~三井物産(株)と新会社設立【(株)ボイスタート】

## III 三井物産(株)の社内起業制度1号案件として、当社と協業。



- III シニア世代に対し音声AIスピーカーを利用したサービスを提供
- III スマホやPCが苦手なシニア世代にもインターネットの恩恵を届ける
- III 日常生活や、家族・地域コミュニティとのつながりをサポート
  - III イベントや防災情報の提供
  - III 音楽/カラオケ/落語など娯楽情報の提供
  - III 声のトレーニングなどの健康増進
  - III 薬を飲む時間のお知らせ 等
- III 鎌倉市と実証実験に関する協定を締結（9月28日）
- III 2019年の本番サービス開始を目指す

※詳細は当社リリースへ

<http://v4.eir-parts.net/v4Contents/View.aspx?cat=tdnet&sid=1611437>

# 当期ハイライト③ ~GA technologies IPO

## III 当社の投資先 (株)GA technologiesが7/25に東証マザーズ上場。



# 当期ハイライト（その他）

## 2017年

- ||| 10.3 音声ビッグデータ領域のAIアルゴリズムライブラリ『VOICE OF EXPERIENCE(VoX)』提供開始
- ||| 10.24 AIを用いた業務自動化アルゴリズム『Human Intelligence Automation(HIA)』提供開始
- ||| 11.1 データサイエンティスト・AIコンサルタントなどの人材紹介事業『Change AI Network(CHAIN)』を開始
- ||| 11.8 AIコンサルタントの新資格制度『Change AI Consultant(CAI)』を開始
- ||| 11.30 VR空間上でJAXAのデータを活用した宇宙ミュージアム建設プロジェクトを鹿児島県肝付町と推進
- ||| 12.5 総務省「ICTスキル総合習得プログラム」開発事業の一環として「gacco」にてeラーニングを開講

## 2018年

- ||| 1.15 経済産業省における『AIを活用した製品事故情報の分析業務の高度化に関する調査』事業を受託
- ||| 1.16 当社のデータサイエンスおよびAI講座が、経済産業省の第1回「第四次産業革命スキル習得講座」に認定
- ||| 1.22 実業務映像を活用したVR教育コンテンツ制作サービスの提供開始
- ||| 1.23 富士通エフサスにモビリティ提案力強化プログラムを提供開始
- ||| 1.24 APIエコノミーを加速させるためのAPIセキュリティゲートウェイサービスの提供開始
- ||| 1.29 スマートデバイス向け多拠点同時接続ビデオミーティングアプリケーション「Tap Room」の提供開始
- ||| 3.16 LINE WORKSとSansan、株式会社チェンジがソリューション連携による協業を開始
- ||| 3.26 パブリックセクターの業務に特化したRPA導入支援サービスの開始

# 当期ハイライト（その他）

## 2018年

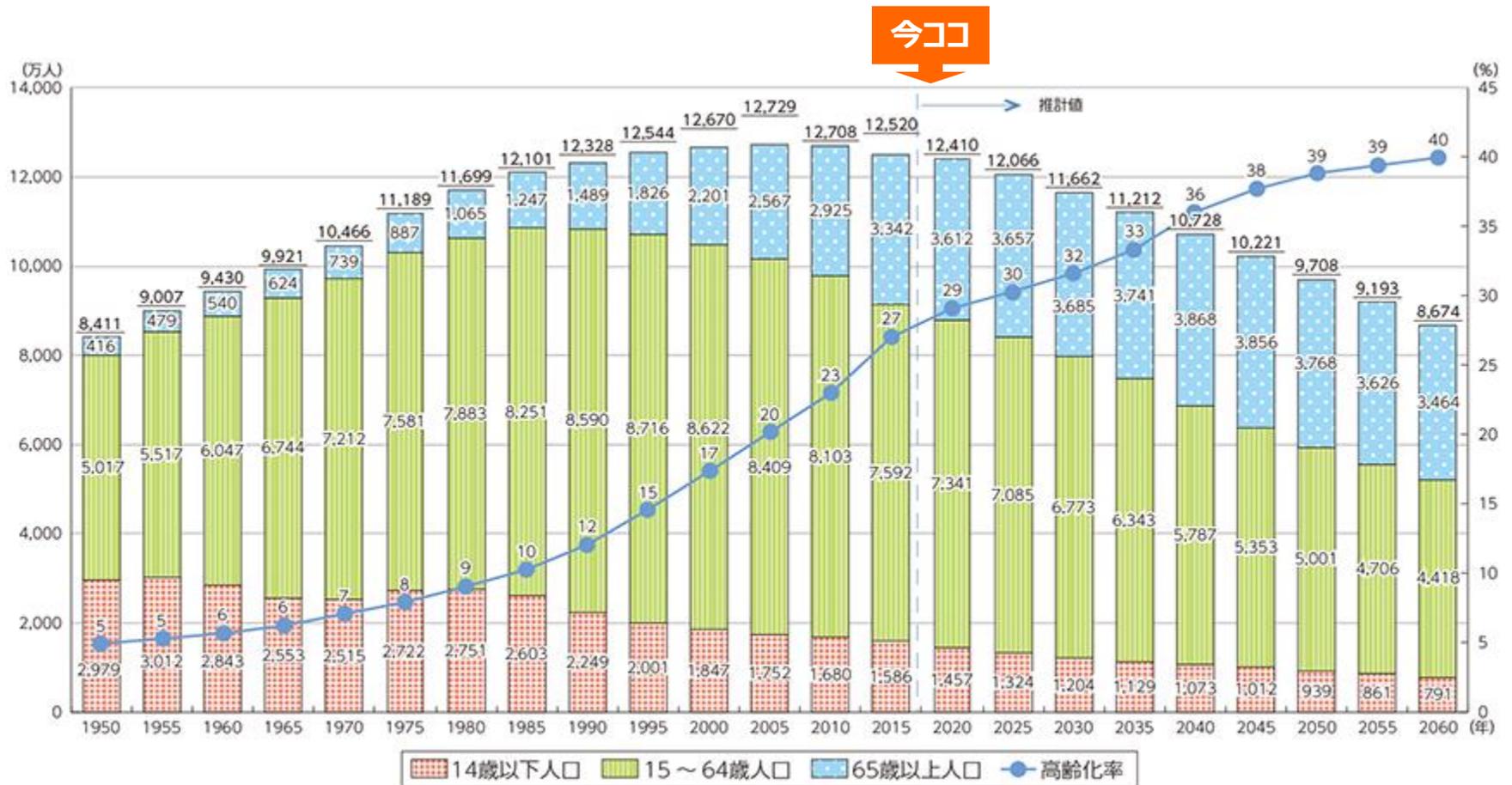
- ||| 4.4 熊本市・日本マイクロソフトと「市職員向けAI活用研修およびAIチャットボット試行検証」を提供
- ||| 4.12 AIスピーカーを活用した施設案内・受付ソリューションの提供開始
- ||| 4.23 AIスタートアップを中心にデジタルトランスフォーメーション事業を手掛けるヘッドウォータース社と資本・業務提携
- ||| 4.25 日本水産株式会社のデータサイエンス専門組織の立ち上げに伴う支援を強化
- ||| 4.26 奈良市・UiPath社とRPA導入に向けた実証試験を開始
- ||| 5.15 投資事業の開始（定款変更）
- ||| 5.28 会議の生産性向上を目的とした『働き方改革プログラム』をヤフーに提供
- ||| 6.14 株主優待制度の新設
- ||| 6.28 LINE社のAIアシスタント「Clova」の「Clova Extensions Kit」初期パートナーに
- ||| 7.13 AIベースのビジネスチャットソリューション「InCircle」などを手掛けるAOSモバイル社(現AI CROSS)への出資
- ||| 7.20 テレビ東京と協業 経済報道番組を活用した研修セミナーの提供を開始
- ||| 7.25 AIスピーカーを活用した施設案内・受付ソリューション、阪急うめだ本店で実証実験開始
- ||| 7.27 教育アプリCHANGE UPにおける新サービスとして、内定者・新入社員向け『New Hire Training』を提供開始
- ||| 8.6 作業者の安全・健康管理を目的としたIoT技術活用推進第1弾として、熱ストレス検知ソリューションの提供開始
- ||| 8.20 自動運転時代を見据えたコネクティッドカー特化型IoTセキュリティ・デューデリジェンスサービスの開始
- ||| 9.18 「意識構造学」をベースにした組織マネジメント理論の株式会社識学と資本・業務提携

2018年9月期の振り返り

**2019年9月期の方針**

# 当社ミッション

## ||| Change People, Change Business, Change Japan



出典：総務省平成28年度版情報通信白書「図表1-1-1-1 我が国の人口の推移」

<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h28/html/nc111110.html>

※2015年までは総務省「国勢調査」（年齢不詳人口を除く）、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」（出生中位・死亡中位推計）

生産性をCHANGEする。

人 x 技術

人材育成

NEW IT

# 事業環境①

## ||| New-IT領域の投資意欲は引き続き旺盛/加速。

### DX投資 旺盛

- ||| ほぼ全ての産業でDX(デジタルトランスフォーメーション)への投資を加速

### LOBによる IT支出増

- ||| LOB(事業部門)のIT投資が活性化
- ||| IT部門による投資額成長率を大きく上回る見込み

### 働き方改革 関連支出増

- ||| 労働生産性向上へNew-ITの仕組みが不可欠に

# 事業環境②

## 日本の生産性革新は、全方位的に「国策」といえる様相。

### 働き方改革

**働き方改革実行計画 (概要)**

平成29年3月28日  
働き方改革実現会議決定

経済産業省  
Ministry of Economy, Trade and Industry

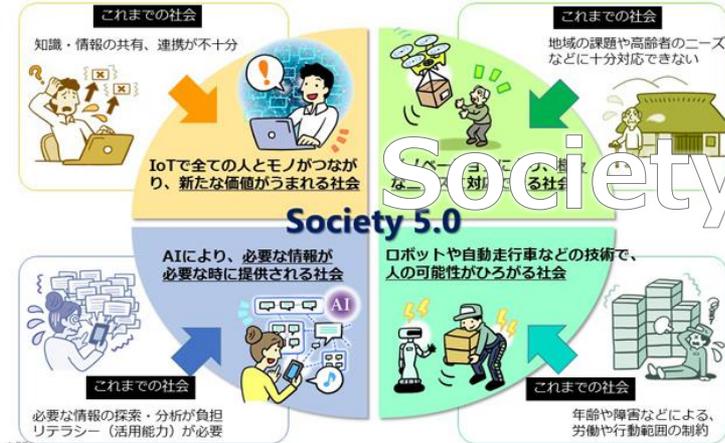
働き方改革の実現  
働き方改革の推進  
働き方改革の推進  
働き方改革の推進

1. 非正規雇用の待遇改善  
2. 賃上げと労働生産性向上  
3. 企業への働きかけの取組

第四次産業革命スキル  
習得講座認定制度

Reスキル

<http://www.meti.go.jp/policy/economy/jinzai/reskillprograms/index.html>  
(出典：経済産業省ホームページ)



### デジタル・ガバメントの実現（行政からの生産性革命）②

<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/pdf/20170328/05.pdf>  
<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/pdf/20170328/02.pdf>  
(出典：首相官邸ホームページ)

経済産業省  
Ministry of Economy, Trade and Industry

**キャッシュレス・ビジョン**

平成30年4月  
経済産業省  
商務・サービスグループ  
消費・流通政策課

### キャッシュレス化 (+ポイント還元)

<http://www.meti.go.jp/press/2018/04/20180411001/20180411001-1.pdf> (出典：経済産業省ホームページ)

[http://www8.cao.go.jp/cstp/society5\\_0/index.html](http://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/index.html)  
(出典：内閣府ホームページ)

**デジタル・ガバメント実行計画**

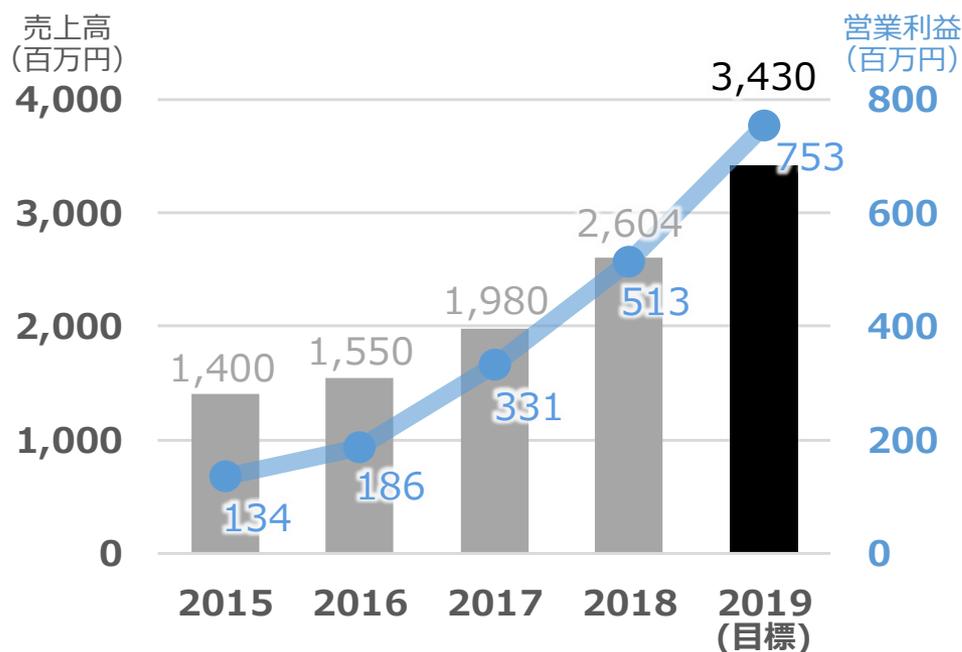
平成30年7月20日  
デジタル・ガバメント閣僚会議決定

- マイナンバー制度の利便性の向上
- 官データのオープン化
- AI等を活用した業務改革
- デジタル・ガバメント推進のための体制・環境整備

[https://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/kettei/pdf/dgov\\_actionplan.pdf](https://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/kettei/pdf/dgov_actionplan.pdf)  
[http://www.kantei.go.jp/jp/content/miraitoushi2018\\_1-3-1.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/content/miraitoushi2018_1-3-1.pdf) (出典：首相官邸ホームページ)

# 業績目標

Ⅲ 積極投資に伴う原価・販管費の伸びを吸収して**過去最高益**を目指す。



	前期	2019年9月期		
	金額	金額	増減額	増減%
売上高	2,604	<b>過去最高</b> 3,430	825	+31.7%
営業利益	513	<b>過去最高</b> 753	239	+46.6%
経常利益	513	<b>過去最高</b> 752	238	+46.5%
当期純利益	343	<b>過去最高</b> 512	168	+49.1%

# 主な投資領域

||| **引き合い多数/挑戦領域多数につき、“担い手”の確保が課題。**

## 人材

||| **人材関連総費用 約195百万円Up**

## オフィス 増床

||| **一時支出 約71百万円**

||| **年間賃料 約31百万円Up**

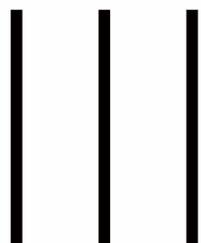
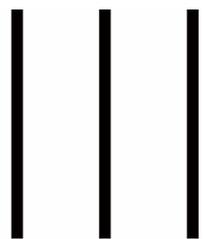
# 主な注力予定領域

III 既に実績が積み上がりつつある領域の深耕・拡大に注力。



# ご注意

- III 本資料に記載されている、将来に関する予測・見通しなどは、資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、不確実性を含んでおります。
- III 実際の業績などは、様々な要因により大きく異なる可能性があります。



CHANGE

PEOPLE, BUSINESS, JAPAN

